

# 議 会 だ よ り

## 第3回揖斐川町議会 定例会

平成20年第3回揖斐川町議会定例会が6月6日（金）から13日（金）までの8日間の会期で開催されました。

初日には17議案が提出され、報告案件5件と承認案件5件のほか2議案がそれぞれ承認、可決されました。条例と予算にかかる5議案は、常任委員会に審査が付託されました。

9日（月）に総務文教、10日（火）に健康福祉、産業建設の各常任委員会が開かれ、付託された議案が審査されました。

12日（木）には、6名の議員が町政について一般質問を行いました。

最終日の13日（金）には、付託された議案の審査結果が各常任委員長から報告され、この日追加で提出された3議案とともに審議されました。審議の結果、すべての議案が原案どおり可決されました。

また、7月19日に任期満了となる揖斐川町農業委員会委員のうち、議会が推薦する委員4名が決定されました。

本定例会に提出された議案の主な内容、一般質問および答弁の要旨は次のとおりです。

### 報告案件

地方自治法、同法施行令の規定により、次の5件が報告されました。

#### ○平成19年度揖斐川町土地開発公社事業報告及び決算の報告について

保有土地の管理を行うとともに、長期借入金利息に充てるため5610万円の借入を行いました。

#### ○平成19年度揖斐川町一般会計予算の繰越明許費の報告について

繰越額 8114万6000円  
事業 学校給食施設建設事業・道整備交付金事業など7事業

#### ○平成19年度揖斐川町農業集落排水事業特別会計予算の繰越明許費の報告について

繰越額 2億971万9000円  
事業 北和ほか4地区建設事業

#### ○平成19年度揖斐川町公共下水道事業特別会計予算の繰越明許費の報告について

繰越額 1億3248万2000円  
事業 処理施設事業

#### ○平成19年度揖斐川町上水道事業会計予算の繰越額の報告について

繰越額 3500万円  
事業 取水場管理棟築造、取水井減菌設備工事など3事業

### 承認案件

専決処分された次の5件が承認されました。

#### ○揖斐川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

国民健康保険法の改正に伴い、特定健康診査の創設、被保険者が死亡した場合に支給する葬祭費を2万円から5万円に引き上げるなどの改正がされました。

#### ○揖斐川町税条例の一部を改正する条例について

地方税法の改正に伴い、ふるさと納税制度の創設、住宅の省エネ改修に対する固定資産税軽減措置の創設、個人住民税の公的年金からの特別徴収制度の導入などの改正がされました。

#### ○揖斐川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

後期高齢者医療制度の施行に伴い、国民健康保険税に後期高齢者支援分を創設するとともに、税率の改正がされました。

#### ○平成19年度揖斐川町一般会計補正予算について

事業の確定により不用額を減額し、財政調整費として2億6000万円を基金に積み立てるなど1億1287万6000円を増額し、歳入歳出予算額を158億8471万7000円とされました。

## ○平成19年度揖斐川町農業集落排水事業特別会計補正予算について

事業の確定などにより4710万円を減額し、歳入歳出予算額を20億4583万5000円とされました。

## 条例案件

### ○揖斐川町心身障害者小規模授産所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

施設の運営形態を障害者自立支援法の目的にあわせるため、題名および条文中の「心身」を削除するなどの改正がされました。

### ○揖斐川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

消防団員等に係る配偶者以外の扶養親族補償基礎額を引き上げるなどの改正がされました。

### ○揖斐川町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

戸籍法の改正に伴い、個人情報保護の観点から、戸籍謄本などの交付請求に関して一定の制限が設けられました。手数料の額に変更はありません。

## 予算案件

### ○平成20年度揖斐川町一般会計補正予算について

谷汲門前参道の整備、揖斐川中央公民館防水工事などで5474万円を増額し、

歳入歳出予算額を138億6274万円とされました。

### ○平成20年度揖斐川町公共下水道事業特別会計補正予算について

管渠施設事業費で1547万5000円を増額し、歳入歳出予算額を7億3537万5000円とされました。

## その他の案件

### ○土地の取得について

谷汲緑地公園用地の取得が可決されました。

面積 1万9835平方メートル  
価格 3120万6735円

### ○工事請負契約の変更について

徳積・長瀬地区農業集落排水事業19・1工事（処理施設）工事の請負契約が変更されました。

変更前 1億6170万円  
変更後 1億6847万6700円

### ○工事請負契約の締結について

徳積・長瀬地区農業集落排水事業20・2工事（処理場建築）  
契約金額 5565万円

### ○工事請負契約の締結について

徳積・長瀬地区農業集落排水事業20・3工事（処理場機械設備）  
契約金額 1億2558万円

### ○揖斐地区移動脱水乾燥車購入契約の締結について

契約金額 5596万5000円

### ○揖斐川町農業委員会委員の推薦について

次の方が議会から推薦されました。

宗宮孝生さん（房島）  
野原定夫さん（胫永）  
浅野義一さん（谷汲徳積）  
大野二三さん（島）

## 議会活動報告

### 3月

31日 第2回議会運営委員会

### 4月

30日 第4回議会全員協議会

### 5月

19日 第5回議会全員協議会  
19日 第3回議会運営委員会

### 6月

6日 第3回定例会（初日）  
6日 第6回議会全員協議会  
9日 第2回総務文教常任委員会  
10日 第2回健康福祉常任委員会  
10日 第2回産業建設常任委員会  
12日 第3回定例会（第2日）  
13日 第3回定例会（最終日）  
13日 第7回議会全員協議会

## ここが聞きたい 一般質問

### 議員6名が町政を問う

本定例会の一般質問の要旨をお知らせします。（紙面の都合上、質問および答弁は要約しております。）

### 林幹夫議員

### 養護老人ホーム「揖斐川尚和園」について

高齢者の施設には、居住環境と特に災害弱者を守る万全の整備が求められます。養護老人ホーム揖斐川尚和園には常に定員の50人に近い人が在園されていますが、昭和50年に建築された鉄骨ブロック造り平屋建てで、耐震化と防火設備の充実など整備を必要とする施設となっています。現在の居住環境と築後34年を考えると、施設の建て替えも対処の一つと考えます。そこで次の点についてお尋ねします。

- ①耐震診断を行った期日とその結果に基づいた施設補強工事の経過について
- ②防火設備の現状について
- ③給食全般の現状について
- ④施設の建て替えについて

## 町長

①「揖斐川尚和園」は、平成15年1月に耐震診断を実施し、「耐震性能は劣る」との診断結果を受けています。

②防火設備の現状については、消防法に基づく防火設備を整えるほか、火災発生時には自動で消防署に通報する設備も整え、年2回の点検を実施しています。

③給食全般の現状については、栄養士と調理員が少しでも美味しく、工夫を凝らした食事作りに心がけています。

④施設の建て替えについては「養護老人ホームの設備及び運営に関する基準」が平成18年度に改正され、これに準じて、運営方法・財源確保など県との協議を進めています。そこでの調整が整い次第、改築に取りかかりたいと考えています。

## 林幹夫議員

### 居住地内の防災対策について

災害が起きたとき、その被害箇所は以前から地域の人が不安を持ち、兆候があった場所だと聞きますが、事前に把握し対処することが重要です。地震が起きると春日公民館脇の小山は崩壊の心配があり、国道303号の城山地点、県道藤橋池田線の川口橋付近でも山腹が崩落し居住地を直撃、揖斐川にせき止湖ができるおそれがあります。要注意箇所は他にもあるため早期に点検し、災害対策をすませる必要があります。そこで、次の点についてお尋ねします。

①中程度の地震でも危険と判断される箇所の点検の実施状況と町が把握している要注意箇所数について

②危険と思われる箇所について、住民から調査申請を受け付け、防災調査を実施するシステムの構築について

③防災調査の結果や危険箇所を住民に周知、公表することについて

④春日・小宮神地区の春日公民館脇の小山全体の耐震調査について

⑤春日保育所脇のプールの耐震診断について

## 町長

①危険箇所数は、土石流危険渓流が145箇所、急傾斜地崩壊危険箇所が163箇所です。点検は日頃から職員による見まわりや地域の方々からの通報により実施していますが、特に豪雨や台風の後にも点検を行っています。

②危険と思われる箇所の防災調査については、土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域の指定にかかる調査を、県と共に順次行っており、地域住民の方のご意見を伺いながら進めます。

③指定区域の公表については、揖斐土木事務所と協議し周知したいと考えています。また、現在「地震防災ハザードマップ」の作成を進めており、近々、各戸配布し周知します。

④春日公民館南側の小山については、県により急傾斜地崩壊対策事業が実施されています。

⑤町内の学校施設の耐震診断は、児童

生徒の安心・安全な学校生活を確保することから、平成18年度までに、すべての施設の耐震診断を終了しています。春日小学校のプールは、昭和59年に現在の建築基準で建設されています。

## 高橋元之議員

### 民間活力の導入と地域消費購買力の増大対策について

県の統計資料を見ると、購買力の35%以上が町外へ流出していると思われます。こうしたことから、地元消費力を高めるには、地元購買、消費活動向上のため、行政の支援、指導が必要であると考えます。このため、行政、商工会、農業団体、観光協会等からなる仮称「産業振興会議」を創設し、マーケティングリサーチ、雇用創出等に関する調査、研究をしてはどうかと考え、町長にお尋ねします。

## 町長

町としても中小企業への融資制度を設けて支援にあたっていますが、引き続き商工会組織や県などの関係機関・団体との連携を強化します。ご提案の地元消費購買力の向上施策については、行政・商工会・個人商店の役割を明確にし、検討していきたいと考えています。

## 高橋元之議員

県立揖斐特別支援学校の開校について（新小野坂トンネルの必要性について）

県立揖斐特別支援学校が平成21年4月に開校しますが、地域として学校支援組織が必要であり、地域、学校が一体となった学校運営が最善と考えますが、町長の見解をお聞かせください。

また、この支援学校が誕生することによって、揖斐川谷汲線の新小野坂トンネルは、福祉トンネルとしての必要性も出てきました。新小野坂トンネル建設推進に向けての町長の決意をお聞かせください。

## 町長

町としても、学校と地域とが一体となった支援体制を整えることが大切であると考えています。今後は、関係する学校の教職員および児童生徒の保護者をはじめ、地域の療育機関や、学校所在地域の支援者、教育委員会の職員などから組織する「特別支援教育連携協議会」の設置を進め、学校・家庭・地域が積極的に連携を図り、特別支援教育の一層の充実に努めます。

新小野坂トンネルの建設推進については、県において本事業を揖斐土木事務所の整備計画に取り上げられています。町としても、今後も引き続き重要な路線として、当県道の早急な道路整備と新小野坂トンネルの早期事業化を地元道づくり委員会の皆さんと共に、今まで以上に強力に要望します。

## 高橋元之議員

### 谷汲山華嚴寺御開帳について

平成21年3月に54年ぶりに谷汲山華嚴寺の御開帳があります。全国から多



くの参拝客が訪れる御開帳は、地域活性化の起爆剤として期待されるとともに、全国に向けて情報発信し、話題性を高めることが重要であると思います。が、町長の考えをお聞かせください。

また、この際、谷汲観光資料館を麓に移築して、街づくり会館としてリニューアルしてはと思いますが、町長の考えをお聞かせください。

## 町長

議員ご提案のとおり御開帳期間中は多くの観光客が見込まれ、揖斐川町のPRの絶好の機会ですので、ご意見を参考とさせていただきながら、効果的なPR方法を検討していきたいと考えています。

また、観光資料館の移設については、町では行財政改革の一貫として、現在、町内のすべての施設を対象に、見直し作業を進めているところであり、今後の検討課題したいと思います。

## 高橋久好議員

### コミュニティバスについて

コミュニティバスのバス停から遠距離の方、足が不自由な方々から、もっと近いところにバス停を設置してほしいと強い要望が出ています。前回定例会の一般質問の折、町長は「柔軟に見直していく」と答弁されましたが、具体的にはどのように考えているのか、お尋ねします。

## 町長

コミュニティバスの運行については、

小島地区や房島・北方地区への路線の新設、揖斐黒野線の見直し、横蔵線の増便など、地域の方から多くの要望を伺っています。現在、黒田から小島小学校・上野を経由し市場へ至る路線やイビデンの通勤を含め、房島・北方地区への路線の新設に向け、作業を進めているところです。関係機関と協議、調整ができ次第運行し、なお一層利用しやすいコミュニティバスの運行に努めたいと考えています。

## 高橋久好議員

### 過疎化問題について

揖斐川町の人口は合併から3年の間に若者を中心に約1200人減少しました。過疎化は商業の廃業、少子化、高齢化などさまざまな問題の原因となる深刻な問題です。これから未来に向け、過疎化対策をどう進められるのか、具体的にお聞かせください。

## 町長

町としては、中学校卒業までの医療費を無料化したほか、妊婦健康診査にかかる町単独の助成を拡充し、すこやかベビー祝い金や各種健康事業に取り組むなど、少子化対策を強化し「安心して子育てができる環境づくり」を進めているところです。

また、人口の流出防止および若者のUターンやIターンなどを受け入れられる住宅や、世帯人員3人から5人の標準的な世帯が入居できる優良な賃貸住宅の整備を検討しています。

さらに、企業誘致対策として候補地

の選定を進めるとともに、進出を希望する企業に関する情報収集などに取り組んでいるところです。

## 高橋久好議員

### 養老鉄道・揖斐駅駐輪場について

今年春より揖斐駅に無料の駐輪場が完成し、多くの学生さんなど、自転車利用者に役立っています。残念なことに屋根がないため、雨が降ると地面がぬかるみ、自転車も濡れてしまうので、早急に屋根を作ってほしいとの意見を多くいただいています。町長の考えを伺います。

## 町長

屋根付きの駐輪場については、今年度当初予算で認めていただいていますので、自転車利用者の利便性、他の駅前に整備されている駐輪場を参考にし、地元関係者の意見を踏まえながら、土地所有者である近鉄の協議承認を受け次第設置整備を行い、今年度中に完成することとしています。

## 伊藤政治議員

### 取り残された右岸地区の下水道対策について

いまだに進んでいない右岸地区の下水道問題について、どのように取り組むか、どのような方針で指導、解決されるのか、次の点についてお尋ねします。

- ①小島地区全体をどのように考え、どのように見ているのか。
- ②右岸地区の下水道対策の取り組み方と指導の方法について

## 町長

町では、処理区ごとに推進委員会を組織していただき、その組織が中心となつて処理場の位置など、住民のご理解をいただいた所から順に整備していくことを基本方針としています。

右岸地区においても、早期事業推進をとという声も伺っていますが、いまだ処理場の位置についてご理解がいただけないと聞いています。今後、早急に住民の理解がいただけるよう「揖斐川右岸地区農業集落排水推進委員会」に積極的にお願いし、推進したいと考えています。

処理場の選定については、今後とも県の指導を受けながら、町として技術的な見地からの助言や相談など、推進委員会との連携を取り進めていきたいと考えています。

## 小倉昌弘議員

### 個別排水事業の入札について

町の個別排水事業である合併浄化槽の設置工事は入札で行われていますが、入札ですと、「家の新築、改築の時に工事がスムーズに進まないで困る」と建築業者の方から聞きます。施主にも迷惑がかかり、事業推進の妨げにもなっているのではないのでしょうか。合併浄化槽の設置については登録など、ある程度の条件で建築業者、水道業者から申請があれば、直接工事を発注できるようにしてはいかがでしょうか。

## 町長

現在、町では個別排水事業の市町村設置型の事業を実施していますが、工事から将来の維持管理まで町が責任をもつて行うという基本原則から、工事の発注についても町が入札を行い、施工をしています。

工事がスムーズに進まないとの意見ですが、建築確認申請と同時に事業の申請手続きを行ってもらえれば、早い対処も可能かと考えられますので、事業の主旨について、ご理解いただきますようお願いします。

## 小倉昌弘議員

### 後期高齢者医療制度について

保険料の年金からの天引きですが、これは生活状況を考えず一方的に差し押さえるのと同じです。1年以上滞納すれば保険証を取り上げると明記されています。

次に、医療内容も、外来では1ヶ月の医療費が制限されるため、必要な検査や治療が制限されかねません。入院でお年寄りを早く追い出せば医療機関の収入が増えるようになっていなど、お年寄りは早く死ねと言わんばかりの制度です。町長はこの制度が本当にいい制度、だとお考えでしょうか。この制度では、医療費削減のため在宅介護を進めることもいわれていますが、今の生活環境の中で、在宅介護を進めることができるとお考えでしょうか。

## 町長

年金からお支払いいただくかどうか

というのは、支払い方法の問題で、年金から保険料を支払わない方でも、保険料を納付する必要がある、個別に保険料を支払っていただかなければなりません。保険証の取り上げについては、国民健康保険証と同じで、特に悪質な場合を除き、取り上げることはありません。

医療内容については、75歳以上と74歳以下で受けられる医療に違いはありません。入院中の患者の多くが、可能であれば住み慣れた在宅での療養を希望されているものと考えています。今回の長寿医療制度の診療報酬においては、このような患者の在宅復帰に向けて、退院前からの計画的な支援とともに、訪問看護等の在宅医療の充実を図っています。

## 森本哲弘議員

### 北方城山付近のトンネル化について

城山付近は過去に何回も山崩れを起こし、国道が通行止めされ、その都度迂回路の処理で県において崩落防止工事がなされていますが、いまだ完全とは言いがたく、また山崩れがいつ起こるか分からない状況で、付近住民は今でも安心、安全に通行できないと思っています。このため、城山付近のトンネル化が必要であると思い、303号改良整備と町道路網整備とあわせて、現在の状況をお尋ねします。

## 町長

平成8年～10年の崩落対策工事実施以来、揖斐土木事務所からは現状は安定していると聞いていますが、より安全なトンネル化が理想であると考えています。国道303号の整備状況は、坂内地内の川上～八草バイパスは平成20年秋に完成予定とされており、横山ダム湖に架かる仮称「新横山橋」も平成22年度完成予定で工事が進められています。また、路線内の大規模橋梁の耐震対策も順次進められ、三輪地内において交差点整備や歩道整備の計画が進んでいます。岡島橋架け替えでは、今年度から用地交渉・買収へと進めます。

また、主要地方道など県道整備についても、用地買収や工事施工が順調に進ちよくしています。さらに、都市計画道路に関連して主要なアクセス道路となる町道の整備を進めているところです。

## 森本哲弘議員

### 職員数の見直しと施設の見直しについて

町は集中改革プランや定員管理適正化計画を策定し、職員数の削減に取り組んでいます。このため、職員数の削減状況や今後の見直し、国の示した達成目標をクリアできるか、お尋ねします。

また、公共施設の見直しについて、現在の状況をお尋ねします。特に、小中学校の統廃合、複式学級の実施などについて、どのようにお考えでしょうか。

## 町長

集中改革プランや定員管理適正化計画の対象職員数417名に対して、平成20年4月1日には386名で、31名の削減となっています。当町の計画では、5年間で39名、9・35%の削減を目標としています。本年4月1日時点で、7・43%の純減であり、国の示した基準を十分に達成しています。今後、計画達成基準年である平成22年度には、計画目標達成が十分可能であると考えます。

また、公共施設の見直しについては、各施設の状況を庁内でのヒヤリングや現地調査を行い、各課の最終意見を基に、「揖斐川町町有施設検討プロジェクト」により、継続的に検討を行っています。小中学校の統合については、学校は地域文化の拠点であると考えており、効率性という面からだけでは統廃合を判断できない施設と考えています。保護者や地域住民の方の意見や要望を聞きながら、将来を担う子どもたちにとってベストな教育環境を提供していくことが重要であると考えています。